

風水害避難判断シート

このシートは、自宅周辺の災害リスクを把握し、洪水による浸水が想定される場合の避難方法、避難のタイミング等をあらかじめ確認して自らの避難行動につなげるためのものです。

洪水ハザードマップでは、浸水が想定されるエリアには色が塗られています。自宅の場所に色が塗られているか確認し、色が塗られている場合は洪水ハザードマップの浸水深の目安により想定される浸水の深さを確認しましょう。洪水ハザードマップには想定雨量の異なる2つの地図がありますので、それぞれの地図を確認してください。

あなたの家の想定浸水深

	想定雨量	あなたの家の場所に塗られている色	あなたの家の想定浸水深	
想定最大規模	流域平均632mm/24h		m~	m
計画規模	流域平均302mm/24h		m~	m

※洪水ハザードマップは泉区役所総務課(区役所3階305窓口)で配布しています。

横浜市 洪水ハザードマップ 検索

調べた結果、自宅の場所は浸水が想定される場所でしたか？

はい

最大浸水深よりも高い場所(2階以上)へ避難できますか？

はい

同居者に高齢者や乳幼児など、避難に時間のかかる方はいますか？

はい

いいえ

いいえ

あなたがとる避難行動は 垂直避難

浸水が想定される区域でも、浸水深よりも高い場所に移動し、安全確保することで対応が可能です。自宅の2階以上にとどまることを想定し、食料・水・トイレパック等の必要な備蓄をしましょう。



あなたがとる避難行動は 水平避難

避難開始のタイミング
警戒レベル3 高齢者等避難
避難準備のタイミング
避難情報が発令されたらすぐに避難を始められるよう、日頃から準備しておきましょう。



あなたがとる避難行動は 水平避難

避難開始のタイミング
警戒レベル4 避難指示
避難準備のタイミング
警戒レベル3 高齢者等避難が発令されたら、いつでも避難を始められるよう、準備をしましょう。



あなたがとる避難行動は 自宅で安全確保

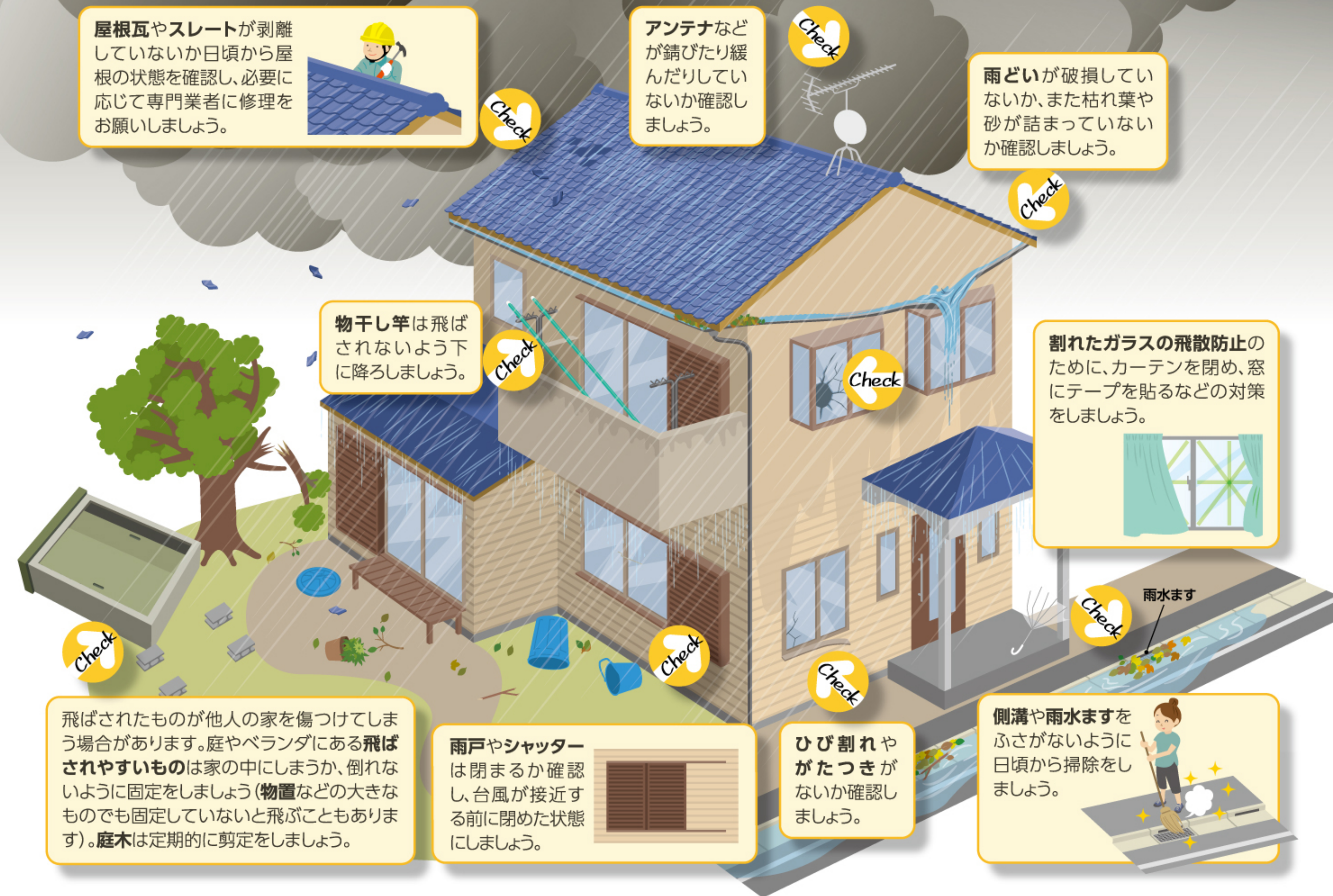
洪水による危険性は低いですが停電や断水等に備えた準備が必要です。内水氾濫による住宅への浸水が発生した場合は、土のう等による浸水防止や、垂直避難を中心に対応します。



※「あなたがとる避難行動」はあくまでも目安です。状況に応じて適切な行動をとるようにしましょう。

自宅の備え

大雨・台風が発生する前に自宅周辺に危険なものはないか確認しましょう。特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼をしましょう。



停電・断水等に備えた備蓄と非常持出品

停電・断水等に備えた備蓄の例

災害発生時には停電・断水等が発生することを想定し、生活に必要なものを備蓄しておきましょう。



非常持出品の例

避難するときに必要となる持出品を確認しましょう。※避難場所では原則、物資・食料の配給を行っていません。



お濁も各自お持ちください